

令和5年度

**第 2 回
八雲町立図書館協議会
議 案**

**日 時 令和6年1月17日（水）
午後6時より**

場 所 八雲町立図書館 2F 集会室

八雲町立図書館

令和5年度 第2回 八雲町立図書館協議会日程

【日時】 令和6年1月17日(水)
午後6時00分

【場所】 八雲町立図書館
2F 集会室

1. 開会

2. 挨拶 八雲町教育委員会教育長 土井 寿彦

3. 委員自己紹介

4. 議事 議件審議

※議案「令和5年度 第2回 八雲町立図書館協議会 議件一覧」参照

5. その他

6. 閉会

令和5年度 第2回 八雲町立図書館協議会 議件一覧

区分	番号	件名	進行	ページ
報告	第1号	八雲町立図書館協議会委員の任命について	①	3
	第2号	令和5年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 利用状況について	③	4
	第3号	令和5年度 八雲町立図書館 施設利用状況について	④	6
	第4号	令和5年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業実施状況について	⑤	7
	第5号	令和5年度 読書感想文・感想画コンクール 審査結果について	⑥	9
議案	第1号	八雲町立図書館協議会 会長・副会長の選任について	②	10
	第2号	令和5年度 八雲町教育委員会事務事業(令和4年度実施分)評価について	⑦	11
	第3号	令和6年度 読書感想文・感想画コンクール 審査委員の依頼について	⑧	15
その他	その他			

報告第 1 号

八雲町立図書館協議会委員の任命について

Ⅰ八雲町立図書館協議会委員名簿（令和5年10月1日 現在）

氏 名	所属等	備 考 (今期任命経緯等)
なか た かず ひさ 中 田 和 久	浜松小学校長	再 任
おお かわ つし 大 川 強	八雲町文化団体連合会	新 任
あし だ とも こ 芦 田 朋 子	童話サークルぴいたあぼん	新 任
おお た さち え 太 田 幸 恵	学識経験者	再 任
やま なか ひさ え 山 中 久 江	学識経験者	再 任
こ ぼやし ゆき こ 小 林 幸 子	一般公募	再 任

(任期:令和5年10月1日から令和7年9月30日まで)

報告第 2 号

令和5年度 八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 利用状況について(12月末対比)

(1)八雲町立図書館(本館) ※団体貸出を除く

	開館 日数	利用者数			貸出冊数					来館者数
		一般	児童	計	一般書	児童書	雑誌	AV資料	計	
4月	26	907	125	1,032	2,568	1,776	153	17	4,514	2,819
5月	24	823	128	951	2,217	1,605	174	20	4,016	2,310
6月	26	855	120	975	2,267	1,664	162	24	4,117	2,680
7月	26	857	147	1,004	2,274	1,781	143	45	4,243	3,061
8月	30	912	157	1,069	2,378	1,894	175	58	4,505	3,340
9月	24	794	115	909	2,182	1,580	153	46	3,961	2,451
10月	26	853	113	966	2,238	1,560	143	42	3,983	3,438
11月	25	720	134	854	2,024	1,470	158	51	3,703	2,889
12月	26	826	134	960	2,638	1,603	180	67	4,488	2,822
合計	233	7,547	1,173	8,720	20,786	14,933	1,441	370	37,530	25,810
前年度	229	7,805	1,316	9,121	22,385	16,862	1,406	222	40,875	25,076
比較	4	△ 258	△ 143	△ 401	△ 1,599	△ 1,929	35	148	△ 3,345	734

(2)移動図書館 ※団体貸出しを除く

	一般	児童	計	一般書	児童書	計
4月	35	94	129	81	435	516
5月	33	98	131	92	425	517
6月	36	85	121	97	395	492
7月	39	99	138	91	449	540
8月	25	49	74	58	221	279
9月	29	99	128	96	372	468
10月	29	66	95	82	331	413
11月	32	69	101	84	331	415
12月	28	74	102	85	316	401
合計	286	733	1,019	766	3,275	4,041
前年度	316	1,061	1,377	895	4,352	5,247
比較	△ 30	△ 328	△ 358	△ 129	△ 1,077	△ 1,206

(3)団体貸出 ※本館・移動図書館合計

	団体数	一般書	児童書	計
4月	26	256	514	770
5月	38	267	810	1,077
6月	27	268	685	953
7月	28	300	626	926
8月	29	262	646	908
9月	35	273	699	972
10月	38	268	688	956
11月	32	293	617	910
12月	30	282	613	895
合計	283	2,469	5,898	8,367
前年度	319	2,607	6,793	9,400
比較	△ 36	△ 138	△ 895	△ 1,033

(4)熊石総合支所図書室利用状況

	利用者数			貸出冊数		
	一般	児童	計	一般書	児童書	計
4月	10	0	10	37	0	37
5月	11	0	11	52	0	52
6月	14	0	14	50	0	50
7月	14	0	14	56	0	56
8月	13	0	13	49	5	54
9月	9	0	9	41	0	41
10月	10	0	10	46	0	46
11月	15	0	15	36	19	55
12月	17	0	17	51	7	58
合計	113	0	113	418	31	449
前年度	125	0	125	462	37	499
比較	△ 12	0	△ 12	△ 44	△ 6	△ 50

(5)相互貸借（他館との資料貸し借りの状況）

	貸出冊数(八雲⇒他館)				借受冊数(他館⇒八雲)			
	一般書	児童書	雑誌	計	一般書	児童書	雑誌	計
4月	11	0	1	12	26	12	1	39
5月	7	0	0	7	31	16	0	47
6月	7	0	0	7	21	10	0	31
7月	6	0	0	6	27	11	0	38
8月	3	0	0	3	27	19	1	47
9月	11	0	1	12	18	19	0	37
10月	6	0	0	6	31	11	0	42
11月	9	0	0	9	20	2	0	22
12月	10	0	0	10	28	1	0	29
合計	70	0	2	72	229	101	2	332
前年度	118	36	2	156	252	33	2	287
比較	△ 48	△ 36	0	△ 84	△ 23	68	0	45

(6)Web公開 / メールリクエスト・Web予約 利用状況

	人数	冊数
4月	62	142
5月	66	147
6月	61	173
7月	46	97
8月	62	135
9月	45	95
10月	34	84
11月	46	79
12月	41	94
合計	463	1,046
前年度	494	1,233
比較	△ 31	△ 187

報告第3号

令和5年度八雲町立図書館施設利用状況について

I 令和5年度 八雲町立図書館 施設利用状況（12月末対比）

		集会室(2F)		視聴覚ホール(2F)		ホール展示
		件数	人数	件数	人数	件数
4月	R5	8	58	5	21	2
	R4	6	45	11	27	2
5月	R5	6	56	6	20	1
	R4	8	84	9	129	2
6月	R5	15	110	6	65	2
	R4	9	103	7	18	2
7月	R5	11	85	10	74	2
	R4	10	112	10	184	2
8月	R5	13	78	13	188	1
	R4	5	59	6	52	2
9月	R5	20	96	10	33	2
	R4	7	73	9	120	2
10月	R5	16	204	13	263	1
	R4	11	128	15	198	1
11月	R5	14	88	14	247	2
	R4	6	56	12	169	1
12月	R5	10	92	11	45	1
	R4	6	58	7	59	2
合計 (12月末対比)	R5	113	867	88	956	14
	R4	68	718	86	956	16
	R5-R4	45	149	2	0	△ 2

令和5年度八雲町立図書館・熊石総合支所図書室 事業実施状況について

■令和5年度 八雲町立図書館 (12月末統計)

事業名	参加人数	事業内容
① おたのしみ えいが会	63人	毎月第2土曜日
② おたのしみ こうさく会	84人	毎月第2土曜日
③ おたのしみ どうわの日	156人	毎月第3土曜日
④ 映画上映会	93人	一般対象 毎月第4土曜日
⑤ おはなしひろば	23人	毎月2回 館内「おはなしのへや」での読み聞かせ
⑥ ブックマラソン (スタンプカード)	181枚	児童対象 貸出冊数相当のスタンプ数に応じた記念品贈呈
⑦ ブックスタート	52人	八雲地域 毎月9か月相談日(毎月1回) 熊石地域 乳幼児相談日(年1回)※今年度未実施
⑧ 出前読み聞かせ会	73人	①(乳)幼児・児童(校外事業) 対象 5件 ②町内学校対象 3件
⑨ 古本リサイクル市	—	4月18日(火)～5月7日(日) ※町民から事前に募集した古本のみで提供。
⑩ 臨時特別開館	—	祝日・休館日(月)での臨時開館 ※4月▶9月 計7日 / 10月▶3月 計5日間
⑪ 集会室(学習室)一般開放	70人	八中・八高の定期試験時前を目途に一般開放(閲覧室満席状態の緩和策)
⑫ 学校図書室支援事業説明会	6人	①5月25日(木) ②2月下旬予定 ※学校(図書室)支援事項等説明会実施
⑬ ロビーコンサート	155人	①10月15日(第59回) 八雲音楽協会20周年記念コンサート 63人 ②11月12日(第60回) 童謡&アニメソングコンサート 45人 ③12月16日(第61回) クリスマスコンサート 47人
⑭ ロビー朗読会	90人	①7月2日(土) (第18回) 60人(第1部29人 第2部31人) ②12月2日(土) (第19回) 30人 ③3月2日(土)予定(第20回)
⑮ としょかんたんけんツアー	0人	①11月4日 中止 (図書フェスのイベントとして実施予定だったが、参加必要人数集まらず中止) ②3月下旬予定 ※児童対象に館内見学・カウンター業務体験・POPづくりなど実施予定
⑯ 第47回 文学史跡めぐり	14人	函館文学散歩 (「函館文学館」「啄木居住地跡」「啄木公園」「箱館奉行所」)
⑰ 読書感想文・感想画 コンクール表彰式	60人	・11月28日(火)表彰式 ・「光陰57号」発行(269部) ・感想文 114点 / 感想画 111点 (合計 225点)
⑱ 学校ブックフェスティバル (道立図書館支援事業)	—	・1月26日(金)実施予定 [会場 / 東野小] ・東野小・野田生小・山越小の全児童を対象に、道立図書館提供の500冊程度の図書を体育館にばらまき、自由選択させた上、貸し出す。
⑲ 図書館フェスティバル	381人	10/7～11/5の期間で下記イベントを開催。なお、この期間で開催される例月行事についても当該イベントの一つとして周知、開催に含めた。 10月7日(土) こうさくかいスペシャル『バスボムを作ろう』 49人 10月8日(日) えいが会スペシャル『すみっこぐらし』 25人 10月11日(水) おはなしひろば(例月行事) 2人

図書館フェスティバル(続き)		第12回幻灯朗読会 80人 第1部 山猫博士のお話「銀河鉄道の父」と「貝の日」 (やくも朗読サークル&木版画家:佐藤国男氏) 第2部 幻灯朗読会「貝の日」 (やくも朗読サークル) ※ほか、佐藤国男木版画展
	10月14日(土)	
	10月15日(日)	バルーンパフォーマンスショー&گریティング 68人 演者:バルーンパフォーマーキック氏
	10月15日(日) ~11月5日(日)	古本市(2回目) 除籍対象となった蔵書図書(3,141冊)を廃棄前に有効活用
	10月18日(水)	夜間映画会「キングメーカー」 9人
	10月21日(土)	おたのしみ どうわの日(例月行事) 16人
	10月22日(日)	リコーダーアンサンブルコンサート 44人 リコーダーアンサンブル トワルブランシュ 公演
	10月27日(金)	おはなしひろば(例月行事) 0人
	10月28日(土)	映画会(例月行事)「父の詫び状」 10人
	10月29日(日)	えいが会スペシャル「かがみの狐城」 7人
	11月1日(水)	夜間映画会「ドライブ・マイ・カー」 16人
	11月4日(土)	図書館たんけんツアー 人数集まらず中止
	11月5日(日)	人形劇公演 55人
イベント参加人数 計	1,320人	(12月末現在)

令和5年度 熊石総合支所図書室

事業名	参加人数	事業内容
図書展示	—	時節のテーマに照らした図書を選択し展示コーナーを設置。(約2ヶ月毎に更新)

令和5年度 読書感想文・感想画コンクール審査結果について

■鶴田知也賞 2篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
感想文部門	ふたりのえびすをよんで	山越小学校	5年	小島 容雄
感想画部門	どう書こうかな	野田生小学校	2年	佐久間 ちよ

■最優秀賞 4篇

■感想文部門 4篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	パンどろぼうのようになりたい	八雲小学校	2年	佐藤 陽仁
小学校中学年の部	ミツバチの世界	落部小学校	4年	上野 空駿
小学校高学年の部	【鶴田知也賞へ選出】	—	—	—
中学校の部	戦争を通して考えたこと	八雲中学校	3年	原田 志音
高校・一般の部	今を大切に	八雲高等学校	2年	鶴飼 みゆ

■感想画部門 0篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	【鶴田知也賞へ選出】	—	—	—
小学校中学年の部	(該当なし)	—	—	—
小学校高学年の部	(応募なし)	—	—	—

■優秀賞 12篇

■感想文部門 8篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	(該当なし)	—	—	—
小学校中学年の部	気づかないやさしさ	落部小学校	4年	那須 光莉
	「西遊記」を読んで	八雲小学校	4年	本間 理
小学校高学年の部	あきらめない心	野田生小学校	6年	碓 杏奈
	ナルと私の5番レーン	八雲小学校	6年	高倉 舞
中学校の部	自分らしく生きるとは？	野田生中学校	2年	片山 美優
	家族	熊石中学校	2年	佐々木 さくら
高校・一般の部	普通とは	八雲高等学校	1年	北川 向日葵
	共生	八雲高等学校	1年	谷 天晴

■感想画部門 4篇

部門・区分	作品名	学校名	学年	氏名
小学校低学年の部	ねずみさん、がんばって	落部小学校	1年	田中 莉緒
	オタマジャクシをさがすジョージ	落部小学校	2年	那須 和真
小学校中学年の部	キラタイサウルスとティラノサウルスがケンカしているえ	落部小学校	3年	藤野 凱理
	かえるのぴよん	八雲小学校	3年	小林 環奈
小学校高学年の部	(応募なし)	—	—	—

議案第 1 号

八雲町立図書館協議会 会長・副会長の選任について

八雲町立図書館協議会運営規則第2条第2項の規定に基づき、会長・副会長を選任する。

記

会長

(任期:令和7年9月30日まで)

副会長

(任期:令和7年9月30日まで)

令和6年1月17日

議案第 2 号

令和 4 年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

令和 5 年 12 月 26 日 作成

			担当課 (部局)	八雲町立図書館	係	奉仕係	
施策の体系	章	4	ふるさとを築く教育の充実と文化・スポーツの振興	法的	法令	条例	その他
	分野	2	生涯学習の推進	根拠等			
	主要施策	3	図書館の充実	実施	○ 直営	委託	その他
	施策	2	町民の課題解決を支援する機能の充実	方法			
評価事務事業名			図書館フェスティバル開催事業				

事業概要	図書館啓発活動の一環として、例月行事では企画しえない規模の大きい催しを実施し、事業を通して町民の生活の充実を図るとともに、図書館へ足を運んでもらうことにより、読書活動の推進及び図書館の利用促進を図る。							
事業の目的	(1) 対象 (誰を、何を対象としているのか)	(3) 手段 (どのような手法、手順で行っているのか)						
	全世代	図書館関係団体と連携を図りながら2日間(10/8、9)に渡り日替わりで一般向け・児童向けの催しを企画し対象者に合わせたプログラムを実施。なお、新型コロナウイルス感染症流行下のため、事前申込、消毒対応など感染防止策を講じて実施。 【1日目】(一般向け)朗読サークルと共催で幻灯朗読会、函館在住版画家 佐藤国男氏と当該サークルとの対談を開催 【2日目】(児童向け)こうさく会(手形アート～ハロウィンカードを作ろう!～)、マジシャンを招聘し「WOW!マジックショー」及びワークショップ「マジカルグッズ」開催						
必要性	(2) 意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	図書館での交流や学びをとおして生活の充実を図り、あわせて今後の図書館の利用・活用につなげる。						
	(1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か) 計 2 点							
1	①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1点	⑥管理・運営に関する事業。	1点				
	○ ②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	追加事由	1点				
	③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。					
	④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1点	図書館には、読書活動の推進をはじめ、多くの町民に対し、交流や学びを深める生涯学習活動の場としての役割もあることから、図書館が積極的に行うべき事業である。					
	○ ⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1点						
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等 計 1 点							
2	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)				-	
	②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。					
	③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1点	社会環境が変化する中で、町民の学習ニーズは多様化している。対象に合った様々な事業を提供し、学びの場や学習成果の発表の場、交流の場として、より多くの町民に図書館を活用してもらうためにも、当該事業は必要である。					
	○ ④限られた予算の中であっても、事業実施の優先性・必要性は高い。	1点						
	追加事由	1点						
有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性 計 2 点							
	○ ①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。				1点	
	②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。					
	③他に類似、重複した事業はない。	1点	図書館関係団体と共催することで、町民のニーズに応える魅力的な事業の企画が可能となり、フェスティバルの内容の充実を図ることができる。					
3	(1) 達成度の測定 計 1 点							
		区分	指標 (算式)	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R4当初計画
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標①	実施日数	日	2	2	2	2
		(算式)						
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標①	フェスティバル参加者数	人	215	234	216	225
		(算式)						
	指標②	フェスティバル期間中催しの数		3	4	4	3	
	(算式)							
	①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。					
	○ ②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点	コロナ禍で外出の自粛など影響がある中、一定の参加者数が保たれている。					
③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点							

4 効率性	(1) 事業費の推移				計	0	点	
	区分	単位	R2決算額	R3決算額	R4決算額	R4事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		
	事業費	千円	22	91	74	単位コスト	一般財源額	
	国・道費	千円				低下している	1点	
	地方債	千円				変わらない	0点	
その他	千円				報償費	70	上昇している	-1点
一般財源	千円	22	91	74	需用費	4	説明	例年どおり
(2) 手法の効率化				計	2	点		
<input type="radio"/>	①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。			1点	④法令等で実施内容や手法等が定められる。			1点
<input type="radio"/>	②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。			1点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。			
<input type="radio"/>	③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。			1点	事業費は、講師謝金、こうさく会に使用する材料費といった必要最低限の経費のみ支出しており、削減の余地はない。			

項目別点数による評価	項目別点数による評価結果	項目別点数表	低	必要性+有効性								高	高達成度+効率性 低								
	A	<table border="1"> <tr><th>項目</th><th>点数</th></tr> <tr><td>1 必要性</td><td>3</td></tr> <tr><td>2 有効性</td><td>2</td></tr> <tr><td>3 達成度</td><td>1</td></tr> <tr><td>4 効率性</td><td>2</td></tr> </table>	項目	点数	1 必要性	3	2 有効性	2	3 達成度	1	4 効率性	2		0	1	2	3	4	5	6	7
項目	点数																				
1 必要性	3																				
2 有効性	2																				
3 達成度	1																				
4 効率性	2																				

担当課評価	A	※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA～Dによります。
-------	----------	--

一次評価(担当課評価)	A 現状にて事業を継続または拡充 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い)
	現状のまま事業を継続 <input type="radio"/> 事業を拡充して継続
	B 事業の進め方の改善により継続 (必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い)
	事業の簡素化、効率化による改善 執行体制の見直し(外部委託等)による改善
	事業手法の見直しによる改善 住民参加等の推進による改善
	事業内容や契約方法等の見直しによる改善 その他効果的・効率的手法の検討による改善
	C 事業規模・内容等の見直しの検討 (達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い)
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討 対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討
	必要性等を再検証し事業規模、計画等を見直しを検討 他の事業、類似事業への統合・転換を検討
	計画期間の延伸、事業費平準化等を検討 その他
D 事業の抜本的見直しを検討 (必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い)	
廃止 統合 縮小 凍結 新たな事業への転換	
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇄ 廃止可能 条件が整えば廃止検討可能 廃止は困難 その他	

説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。	今後の改善策等を具体的に記入します。
	<p>当該事業は、図書館関係団体と共催することにより、朗読など魅力的な生涯学習の場や学習成果の発表の場、交流の場を提供している。また、参加者が当該事業を堪能していることから、読書活動の推進に寄与している。さらに、図書館に来館したことがない方が初めて図書館を利用するなど、利用促進にも寄与している。</p> <p>今後も図書館関係団体と連携を図りながら、より多くの町民に生涯学習機会を提供していけるよう、さらに内容の充実を図りたい。</p>	<p>これまで当該事業は2日間日程が基本であったが、日程の時期、期間の長さ、催しの数や内容を検討したい。</p>

A～現状のまま事業を継続または拡充 B～事業の進め方の改善により継続 C～事業規模・内容等の見直しの検討 D～抜本的見直しを検討

二次評価	外部評価委員会の点検・評価	☆コメント
	A	

令和4年度八雲町教育委員会事務事業・評価個別シート

令和5年12月27日作成

				担当課(部局)	図書館			係	奉仕係	
施策の体系	章	4	ふるさとを築く教育の充実と文化・スポーツの振興	法的		法令		条例	その他	
	分野	2	生涯学習の推進	根拠等						
	主要施策	3	図書館の充実	実施	○	直営		委託	その他	
	施策	4	子どもの読書活動の推進	方法						
評価事務事業名		おたのしみえいが会・こうさく会								

事業概要
 月1回の子供向け定例行事として『えいが会』『こうさく会』を実施することで、図書館が本を借りるだけの場所ではなく、イベントを楽しむ場所、人と集える場所としても利用できることを知ってもらい、子どもとその保護者にもっと図書館を利用してもらおうきっかけを作る。

事業の目的	(1) 対象(誰を、何を対象としているのか)	(3) 手段(どのような手法、手順で行っているのか)
	幼児・児童とその保護者 (2) 意図(対象をどのような状態にしたいのか) 普段図書館に足を運ばない町民に、イベントを通じて来館を促し図書館を知ってもらおう。	月に1度第2土曜日に子供向けえいが会(13:00~14:00)、こうさく会(14:00~15:00)を開催。映画に関しては図書館に所蔵しているDVDを利用。また、こうさく会は季節の行事などをヒントにしつつなるべく材料費も少なくなるよう考えながら、幼児~児童でも作りやすいものを選んでいる。いずれも職員が実施。

1 必要性	(1) 町関与の根拠(町が行う必要がある事業か)	計	2	点
	①法令等教育推進を図る上で必要な事業。	1点	⑥管理・運営に関する事業。	1点
	○ ②教育環境の整備及び町民の暮らしに役立つ事業で、当然の責務として町が行うべき事業。	1点	追加事由	1点
	③子どもから高齢者までを対象に生活する上で不可欠な事業。	1点	(説明) 関与の根拠に関し、内容を具体的に記入します。	
	④町の特性や魅力を生かした取組など、戦略的な事業。	1点	コミュニケーションの場としての図書館の活用を図り、また、子どもやその保護者が集える居場所としての利用を促進していくためにも必要な事業である。	
	○ ⑤民間等による実施も可能であるが、教育委員会が先導・補完しながら行う事業。	1点		
	(2) 社会情勢や町民ニーズの変化等	計	2	点
	①国の制度の見直しや社会環境の変化によって、サービス内容の拡充が求められている。	1点	※法令等で実施内容や手法等が定められて、町の創意工夫が入る余地はない。(点数対象外)	-
	②対象者、利用者が増加するなど、町民ニーズが高まっている。	1点	(説明) 妥当性に関し、内容を具体的に記入します。	
	○ ③事業のマンネリ化を避けるため、事業の見直しを図ることによって、成果が上がってきている。	1点		
○ ④限られた予算の中でも、事業実施の優先性・必要性は高い。	1点	図書と町民を繋げる役割を実践する方法として、本を借りるだけではない利用方法を示す有効な事業である。		
追加事由	1点			

2 有効性	(1) 成果・協働に対する事業の有効性	計	3	点
	○ ①事業を達成するうえで、当該事業の貢献度は高い。	1点	⑤自主的な生涯学習活動の推進が図られる。	1点
	○ ②事業の継続により、成果目標の向上が期待できる。	1点	(説明) 有効性に関し、内容を具体的に記入します。	
	○ ③他に類似、重複した事業はない。	1点	イベントをきっかけに閲覧室を利用してくれる方もおり、図書館利用の活性化に繋がっている。	
	④町民参加の意識高揚が図られている。	1点		

3 達成度	(1) 達成度の測定	計	1	点				
	区分	指標(算式)	単位	R2実績	R3実績	R4実績	R4当初計画	
	活動指標 ※具体的な活動の内容	指標①	えいが会実施回数	回	5	9	11	11
		指標②	こうさく会実施回数 (図書館フェスティバル実施分は除く)	回	9	9	11	11
	成果指標 ※どれだけの成果が現れたか	指標①	えいが会参加人数	人	38	99	92	110
		(算式)	1回当たりの参加人数		7.6	11.0	8.4	10
		指標②	こうさく会参加人数	人	74	152	169	170
		(算式)	1回当たりの参加人数		8.2	16.9	15.4	15
		①活動の効果を明確かつ具体的に示すことができる。	1点	(説明) 成果・効果や達成度に関し、内容を具体的に記入します。				
	○	②意図した成果が得られている。(達成度概ね80%以上)	1点	「えいが会」については参加者は多くはないものの、参加者の多くは最後まで参加しておりそのまま「こうさく会」に参加してくれる方も多い。「こうさく会」も必ず一定数の参加があり、定例行事として認知されている。				
	③あまり成果が出ていない。(概ね60%未満)	-1点						

4 効率性	(1) 事業費の推移		計		0		点		
	区 分	単位	R元決算額	R2決算額	R3決算額	R4事業費の内訳及び金額 (金額の上位2費用他)		単位コスト	一般財源額
	事業費	千円						低下している	1点
	(財源内訳)					区分(節)	金額(千円)	○ 変わらない	0点
	国・道費	千円						上昇している	-1点
	その他	千円						説明 職員による業務時間内での実施のため事業費については計上なし。	
(2) 手法の効率化		計		3		点			
<input type="radio"/>	①現在の手法は、コスト削減にも寄与している。			1点	④法令等で実施内容や手法等が定められる。			1点	
<input type="radio"/>	②執行方法の工夫により、事業費を変えずに対象範囲を拡大する等、効率化の余地はない。			1点	(説明) 手法の効率化に関し、内容を具体的に記入します。				
<input type="radio"/>	③外部委託や執行方法の工夫により、対象範囲を変えずに事業費を削減する余地はない。			1点	こうさく会については図書館にある事務用消耗品、えいが会については閲覧用で購入している上映権付きDVDといった既にあるものを活用していることから、当該事業にあたって改めて費用は発生していない。				

項目別点数による評価	項目別点数による評価結果 A	項目別点数表	高達成度+効率性 高 6 5 4 3 2 1 0 -1 -2 低															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th colspan="2">点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>必要性</td> <td>4</td> <td rowspan="2">7</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>有効性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>達成度</td> <td>1</td> <td rowspan="2">4</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>効率性</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		項目		点数		1	必要性	4	7	2	有効性	3	3	達成度	1	4
項目		点数																
1	必要性	4	7															
2	有効性	3																
3	達成度	1	4															
4	効率性	3																

一次評価(担当課評価)	担当課評価 A	※上記の結果を参考に、事業担当課として、町民ニーズ、他施策との関係等を含め総合的視点から評価します。 ※評価は、次のA～Dによります。
	<p>A 現状にて事業を継続または拡充(必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも高い)</p> <input type="radio"/> 現状のまま事業を継続 事業を拡充して継続	

一次評価(担当課評価)	B 事業の進め方の改善により継続(必要性・有効性は高いが、達成度・効率性は低い)	
	事業の簡素化、効率化による改善	執行体制の見直し(外部委託等)による改善
一次評価(担当課評価)	C 事業規模・内容等の見直しの検討(達成度・効率性は高いが、必要性・有効性は低い)	
	制度・事業内容の全面的な見直しを検討	対象範囲の見直し、受益者負担の見直し・導入を検討
一次評価(担当課評価)	D 事業の抜本的見直しを検討(必要性・有効性及び達成度・効率性はいずれも低い)	
	廃止	統合 縮小 凍結 新たな事業への転換
※事業廃止の可能性や廃止することによる影響 ⇄		廃止可能 条件が整えば廃止検討可能 廃止は困難 その他

説明	一次評価(担当課評価)の内容や考え方を具体的に記入します。	今後の改善策等を具体的に記入します。
	<p>いずれのイベントもある程度の実績を維持できているため、参加人数を増やすための内容の協議なども行いつつ、図書館は『本を借りて返すだけ』の場所ではない、集う場所・イベントを楽しむ場所としての役割を果たしていくことが必要である。</p> <p>映画については特に児童向けの上映権のある作品が少なく、内容に苦慮することもあるが、今後も児童・保護者の興味関心のある作品を上映していけるよう選定を進めていく。</p>	

A～現状のまま事業を継続または拡充 B～事業の進め方の改善により継続 C～事業規模・内容等の見直しの検討 D～抜本的見直しを検討

二次評価	外部評価委員会の点検・評価	☆コメント

議案第 3 号

令和6年度 読書感想文・感想画コンクール 審査委員の依頼について

令和元年度「読書感想文・感想画コンクール」からの審査委員構成(町内各学校教諭6名、一般町民6名)に伴い、引き続き図書館協議会委員より2名の協力を依頼するもの。

記

委員

委員

(委嘱期間:第1回審査委員会から令和6年11月30日まで)

※参考:令和5年度(委嘱期間:令和5年6月29日から令和5年11月30日まで)

令和6年1月17日